

4 重点プロジェクト

重点プロジェクトとは、区が主導することで進捗管理ができ、①各基本目標の牽引役となる、②区特有の環境課題に大きく貢献する、③様々な主体による取組と連携・協働を促す、④中長期的な取組を展開する事業です。

重点プロジェクト1

公共施設等における再生可能エネルギーの導入・活用促進

- 全ての公共施設において、2030年度までに再生可能エネルギー由来の電力に切り替えます。
- 再生可能エネルギーを中心とした小売電力への切替えや、再生可能エネルギー比率の高い電力プランについて、区民や事業者へ情報提供を行い、その選択を促進します。
- 公共施設において、太陽光発電設備や蓄電池システムの導入を検討するとともに、次世代太陽電池について情報収集を行い、社会実装の状況を踏まえながら検討します。

重点プロジェクト2

気温上昇に対する適応策の推進

- 熱中症特別警戒アラートが発表された際、避難施設として利用できる区内の公共施設をクーリングシェルターに指定します。また、夏季期間にはクールスポット・涼み処として涼める場所を開放します。
- 気候変動に伴い頻発化する豪雨による水害への対策として、他自治体、環境NPO、事業者、大学等と連携し、雨水の貯留・浸透の拡大を図ります。
- 気候変動に伴う気温上昇を考慮し、各課は開催するイベントや講座について、状況に応じて開催時期の調整や実施方法の見直しを検討します。

重点プロジェクト3

自然に触れ合える機会の創出

- 「緑と花の学習園」の機能を拡充し、イベントや講座等を充実させ、区民が自然と触れ合える機会を創出します。
- 「自然観察会」や「生きものワークショップ」等の開催を通じて、区民等が自然に触れ合える機会を創出します。
- 生物多様性保全のために、植物や生きもの及び生息・生育環境を守り、育て、活かす人材として環境ボランティアを育成し、リーダーとして地域の取組への参画を呼びかけます。

重点プロジェクト4

プラスチック資源循環の更なる推進

- プラスチック資源の分別方法やリサイクル過程の見える化を積極的に周知し、区民の理解と協力を促進することで、プラスチック分別協力率※の向上を図り、焼却されるプラスチックの削減に取り組みます。 ※資源化対象プラスチックが「ごみ」でなく、「資源」として適切に排出される比率
- 再商品化計画に基づくプラスチックリサイクル工程を適切に管理します。同時に、再生プラスチックの活用促進と効果的な啓発活動を展開し、区内循環経済の構築を目指します。
- プラスチック製品の製造・販売事業者に対し、自主回収システムの構築と再資源化の取組を積極的に呼びかけ、プラスチック資源の循環利用を促進します。
- 充電式電池の適切な回収と処理を徹底し、収集・処理過程での発火リスクを最小化するため、区民への啓発活動を強化するとともに、安全な回収システムの構築に取り組みます。

重点プロジェクト5

環境学習機会の拡充

- すみだリサイクルセンターの機能を拡大し、環境学習の重要な拠点として発展させます。
- すみだ環境フェアをはじめとする環境イベントを開催し、子どもから大人まで幅広い世代が楽しみながら環境について学べる場を提供します。
- 「すみだの自然と生きものガイドマップ」や「できることからはじめよう」等の学校向け環境学習・啓発冊子を配布し、学校における環境教育を推進します。

5 プランの進行管理

PDCA サイクルにより、環境施策の実施状況を把握・評価して次年度の取組に反映します。

また、社会情勢の変化、国及び都による計画内容の見直し、新たな技術革新、予期せぬ環境問題の発生等、環境保全分野を取り巻く状況は常に変化しているため、これらの状況を把握して次年度の取組へ反映していきます。

